

第六次障害者計画の策定に向けたスケジュールについて（案）

（１）第六次計画の策定

平成２７年３月に策定した第五次千葉県障害者計画は、２９年度に計画期間が終了するため、来年度には次期計画の策定期を迎える。

次期計画については、障害者基本法に基づく国の新たな障害者基本計画（第四次、内閣府）や、障害者総合支援法に基づく基本指針（第５期、厚生労働省）に即しつつ、県の総合計画との連携や県行政全体との整合を図りながら策定する。

また、平成２８年６月の障害者総合支援法の改正（３０年４月施行（一部を除く））により策定することとされた「障害児福祉計画」及び、６月に公布・施行された「千葉県手話言語等の普及の促進に関する条例」で障害者計画において定めることとされた「手話通訳者、要約筆記者及び盲ろう者向け通訳・介助員の養成その他手話等の普及の促進に必要な施策」を含むものを策定する。

（国県の計画の状況）

		平成19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
県	☆国の障害者基本計画を基に、県の状況を踏まえて作成														
	☆障害者計画 （障害者基本法）	第三次計画 （16年度～）	第四次計画			第四次計画＜改定版＞			第五次計画			第六次計画			
	○障害福祉計画 （総合支援法）	第1期計画 （18年度～）													第2期計画
	○国の障害者基本計画の基本指針に即して作成														
	（内閣府）														
国	☆障害者基本計画 （障害者基本法）	第二次前期 （15年度～）	第二次後期 （～24年度 前・後期 計10年計画）					第三次計画				第四次計画 （策定期未定・5年）			
	○障害福祉計画 （総合支援法）	第1期計画基本指針 （18年度～）	第2期計画基本指針			第3期計画基本指針			第4期計画基本指針			第5期計画基本指針 （策定期未定）			
	（厚生労働省）														

（２）第六次障害者計画策定体制

千葉県総合支援協議会（第五次千葉県障害者計画策定推進本部会）設置運営要綱第４条第２項により、２９年３月末で現委員の任期が終了する。

このため新運営要綱を定めて千葉県総合支援協議会（第六次千葉県障害者計画策定推進本部会）を設置し、今年度中に本部会委員及び専門部会委員の推薦依頼・公募を実施し、委員を決定する。

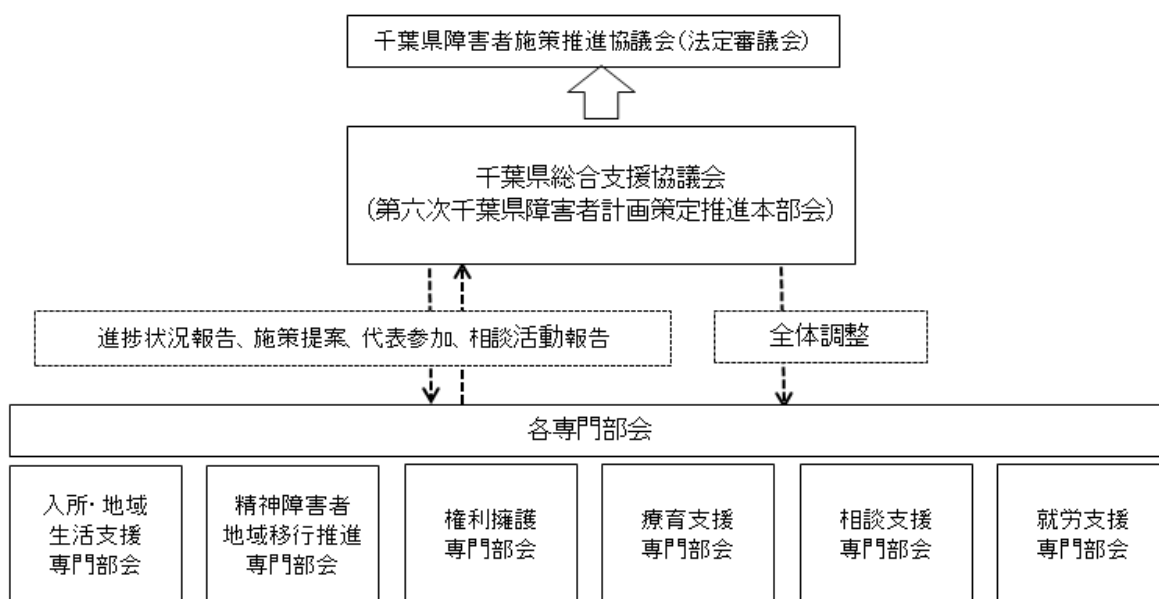
（参考）千葉県総合支援協議会（第五次千葉県障害者計画策定推進協議会）設置要綱 抜粋
（委員）

第４条 本部会は、３０名程度の委員をもって構成し、障害支援団体、学識経験者や関係行政職員など、障害者施策の推進に有為な意見を有する者及び障害当事者及び関係者で公募に

応募した者の中から、千葉県健康福祉部障害福祉課長が依頼する。

２ 委員の任期は２９年３月３１日までとする。補欠者の任期は、前任者の残任期間とする。

（第六次障害者計画策定体制（案））



（３）第六次計画策定スケジュールの概要

２８年度は様々な立場の意見を幅広く聴くため、１０月から障害福祉に関係する団体等へのヒアリングを行い、次期計画策定の参考にする。

２９年４月以降、施策推進協議会・本部会・各専門部会を定期的に開催し、骨子案をとりまとめた後、計画素案を審議する。併せて障害者計画フォーラムを開催する。

この素案を基にパブリックコメントを行い、第六次千葉県障害者計画（案）をとりまとめて施策推進協議会への諮問を行い、意見を踏まえた修正を行ったうえで、２９年度内に計画決定する。

（主なスケジュール）

年度	月	項目
２８	１０月～３月	・関係団体等ヒアリング（～２月） ・本部会、専門部会委員 選定
２９	４月～９月	・本部会、専門部会委員就任 ・施策推進協議会、本部会、専門部会の開催（～３月） ・骨子案とりまとめ
	１０月～１２月	・素案審議 ・障害者計画フォーラム
	１月～３月	・パブリックコメント ・計画案とりまとめ ・施策推進協議会へ計画案を諮問、答申 ・計画決定